

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

〔期間 2023年1月～2023年12月〕

発行日：2024年1月31日



Wallpaper free photo, <https://y.b04.sakura.ne.jp/>

IKK 石川金網株式会社
ISHIKAWA WIRE NETTING CO.,LTD.

事業内容

2023年度
事業所名 石川金網株式会社
〔期間 2023年1月～2023年12月〕
代表者名 石川幸男

発行日：2025年2月21日 〒116-0002 東京都荒川区荒川5-2-6
電話番号 TEL:03-3807-9761
FAX番号 FAX:03-3807-9764

環境管理責任者 石川 カオリ
E-mail info@ishikawa-kanaami.com

事業内容 金属加工・金網・フィルター製造販売

資本金 3千万円
従業員数 28名（パート含む）
売上高 597百万円（2023年度）
事業所の総床面積 1,906㎡

環境経営方針

基本理念

当社は、地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、社員一人一人が自覚を持ち、環境負荷の継続的低減及び持続的に発展できる経済社会の実現に寄与すべく努めることに全社一丸となって取り組みます。上記の取り組みの推進にあたっては、たえず事業の課題とチャンスを整理し、明確にしていく。事業内容、事業を取り巻く状況、事業と環境とのかかわり、それらの認識を社員一同共有した上で以下の環境保全活動を推進していきます。

行動指針

- 1 金網製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生・廃棄物の発生・総排水量(水の総使用量)につき、前年を上回ることの無い様取り組みます。
- 2 金網製品製造の事業活動において、環境に配慮した物品等の購入、使用に順次転換していくことを図るとともに、金網原材料の有効活用を推進し、金属材料のリサイクル活動に取り組みます。
- 3 金網製品製造の事業活動において、その製造過程で使用する化学物質を適正に管理し、定期的に確認する事に取り組みます。
- 4 我々社員一同は、組織共通の環境目標および環境活動計画の内容、手順をよく認識し、自覚等を高めるため、組織が実施する教育に積極的に参加する。
- 5 我々社員一人一人は、環境に関する法規制及び当社が約束したその他の事項を遵守します。
- 6 我々社員一人一人は、環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。

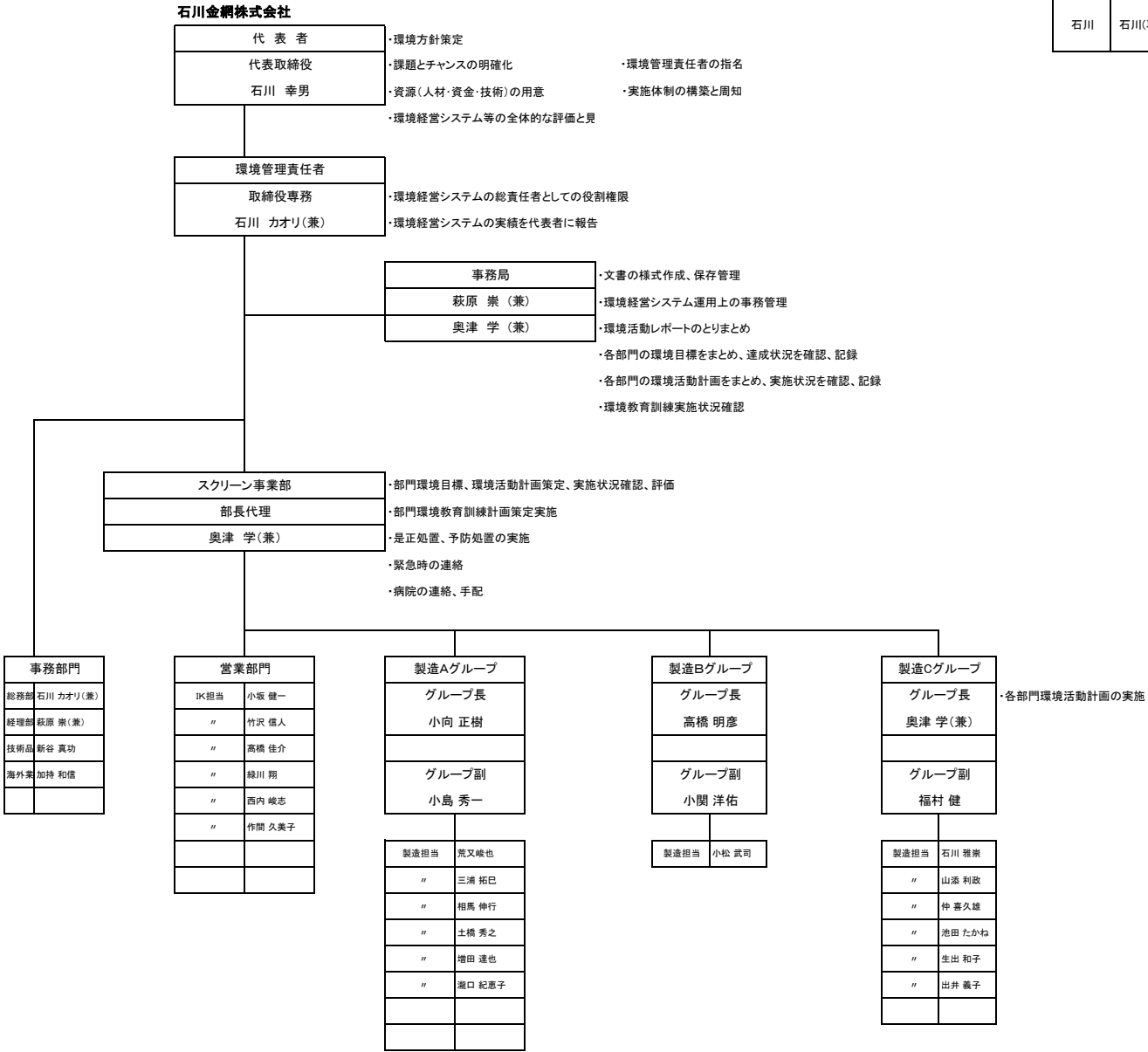
2008年9月20日 制定
2019年3月5日 改訂
2020年12月5日 改訂

石川金網株式会社

代表取締役社長 石川幸男

エコアクション21 実 施 体 制 （総員:30人）

代表者 (承認)	環境管理 責任者 (位置)
石川	石川(専)



2024年1月31日：確認

■環境目標一覧表とその実績

2023年度1月から12月

代表者 (承認)	環境管理 責任者 (取りまとめ)	事務部門長 (作成)	営業部門長 (作成)	製造部門長 (作成)
石川	石川(専)	奥	奥	奥津

		● 環 境 目 標 と 実 績(三力年計画)						
環境方針	項目	施行期間 2023年1月～12月		2023年 活動計画	施行期間 2024年1月～12月		施行期間 2025年1月～12月	
		目標	実績 (判定)	環境活動計画	目標	実績 (判定)	目標	実績 (判定)
1:金網製品製造 の事業活動を通じ て、二酸化炭素の 発生・廃棄物の発 生・総排水量(水の 総使用量)に付、前 年を上回ることの 無い様取り組みま す。	101 事業活動車両か ら出る二酸化炭 素の量を前年を 超えない	各車両燃費の 前年値を超え ない	前年値:17.38 実績値:23.70 (km/L) 評価判定:5	各車両の燃費の月 別測定・監視	各車両燃費の前年 値を超えない	前年値:23.70 実績値: (km/L) 評価判定:	各車両燃費の 前年値を超え ない	前年値: 実績値: (km/L) 評価判定:
	102 電力使用から出 る二酸化炭素の 量を前年を超え ない	電力使用量の 前年値を超え ない (1か月平均)	前年値:8915 実績値:8614 (kWh) 評価判定:5	エアコンの設定温 度を夏28度、冬23 度を目安とする	電力使用量の前年 値を超えない	前年値:8614 実績値: (kWh) 評価判定:	電力使用量の 前年値を超え ない	前年値: 実績値: (kWh) 評価判定:
	総二酸化炭素排 出量の計算	前年値:56.35t 実績値:54.91t 中央電力:0.483kg-CO2/kW ENEOS:0.477kg-CO2/kW ガソリン:2.32kg-CO2/l 軽油:2.58kg-CO2/l 都市ガス:2.23kg-CO2/m ³			前年値:54.91t 実績値: 中央電力: ENEOS: ガソリン: 軽油: 都市ガス:			
	103 水の総使用量を 抑制する	103 水の総使用量 を抑制する	前年値:41.08 実績値:43.08 (m ³ /月) 評価判定:4	①水を使用する場 合は、こまめに蛇 口を開閉するなど 節水に心がける。 ②漏水のチェックを 随時おこなう。	103 水の総使用量を抑 制する	前年値:43.08 実績値: (m ³ /月) 評価判定:	103 水の総使用量 を抑制する	前年値: 実績値: (m ³ /月) 評価判定:
2:金網製品製造の事 業活動において、環 境に配慮した物品等 の購入、使用に順次 転換していくことを図 るとともに、金網原材 料の有効活用を推進し、金属材料のリサイ クル活動に取り組み ます。	202 廃棄物排出量 (金属・紙管・木く ず)の削減	前年の排出量 を超えない	前年値:2784.5 実績値:2728.3 (kg/月平均) 評価判定:5	産業廃棄物排出量 の測定、監視をお こない、削減に努 める	前年の排出量を 超えない	前年値:2728.3 実績値: (kg/月平均) 評価判定:	前年の排出量 を超えない	前年値: 実績値: (kg/月平均) 評価判定:
評価基準 判定	評価判定5 良くできている(100%以上達成)		評価判定4 目標を達成している(95～100%達成)		評価判定3 目標を若干達成している(90～95%達成)			
	評価判定1 目標を達成していないので、是正処置が必要 (-50%以上)							

■主要な環境経営活動計画の内容

◎(目標達成) ○(改善が進む) △(現状維持) ×(悪化している)

環境方針	環境目標	環境活動計画 2023年1月～12月]	判定
1: 金網製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生・廃棄物の発生・総排水量(水の総使用量)に付、前年を上回ることの無い様取り組みます。	各車両燃費の前年値を超えない	各車両の燃費の月別測定・監視	◎
	電力使用量の前年値を超えない	②エアコンの設定温度を夏28℃、冬23℃とする	◎
	水の総使用量の前年値を超えない	①水を使用する場合、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心掛ける	○
		②漏水のチェック随時行う。	○
2: 金網製品製造の事業活動において、環境に配慮した物品等の購入、使用に順次転換していくことを図るとともに、金網原材料の有効活用を推進し、金属材料のリサイクル活動に取り組みます。	産業廃棄物の排出量を削減	測定、監視の徹底により産業廃棄物の排出を削減	◎
3: 金網製品製造の事業活動において、その製造過程で使用する化学物質を適正に管理し、定期的に確認する事に取り組みます。	化学物質の管理・確認の徹底をする。	日常の業務において化学物質の管理徹底を行う。	○

■環境活動の取組結果の評価

2024年1月31日

(活動期間: 2023年1月～12月)

- (1): 環境方針1の二酸化炭素の発生抑制と廃棄物の抑制、水の使用量抑制はやや限度に近づきつつあると思われる。今後は現状維持を目標にして、その経過をチェックしていくことにする。また、社員への取り組み意識を向上させる。
- (2): 製品包装時に使用する紙を切らない包装に変更した。このことにより今まで出ていた紙屑が出なくなりごみ削減に繋がった。

■次年度取組

次年度は、廃棄物の排出抑制、リサイクル活動に積極的に取り組む。

- 1.紙の使用量の抑制

2024年度

- ・会議資料、事務手続き書類の簡素化。
 - ・両面印刷、両面コピーの徹底。
 - ・使用済み用紙の可能な限りの利用。
 - ・データ化、データ保存を有効に活用し整備につとめる

[期間 2024年1月～2024年12月]
- 2.オフィス等におけるリサイクルの徹底

2024年度

- ・ごみの分別の徹底。
 - ・コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収とリサイクルの促進。
 - ・包装、梱包等のリサイクルの取組。

■環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 環境法規制の遵守状況

法令の名称	関連する施設・適用項目	遵守状況
荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	・可燃ごみ・不燃ごみ・資源ゴミ (一般廃棄物)	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物保管施設 ・金属屑、廃プラ、紙(紙管)、木くず、 廃油	○
東京都環境保護確保条例	・認可工場(騒音・振動)	○
化管法(PRTR法)	ラッカーシンナー(SDSの常備保管及び周知)	○
自動車Nox、PM法	所有車両	○
オフロード法	フォークリフト	○
フロン排出抑制法	定期点検	○

2. 訴訟の有無

環境関連法規への違反・訴訟ありません。なお、関係当局よりの重大な違反等の指摘は、制定以後過去ありません。

3. 代表者による全体評価

【エコアクション21】の活動への取組みも社員へ浸透してきている。本年度も新しい社員も増え、引き続き教育、活動していくことが重要である。また、一方で取組みを継続することの難しさが課題としてある。電力、燃費、水などそれぞれ前年を数値より悪くならないことを目標に活動しているが、夏場の猛暑の影響を受けたため、電力、水の使用量が大幅に増える結果となり、目標の達成が難しくなってきたが、引き続き、「地球環境保全」の為に何が出来るかを会社、社員一人一人が新たな目標を設定し、恒久的に活動を続けられるようにしていきたい。SDGs活動などを取り入れていくことも検討の一つとし、目標と達成に努力、改善し努めるようEA21活動に取り組みたい。

2024年1月31日